

B地点：蛭川下流は住宅地を流れてくるので、生活雑排水による臭いがある。

- ヒル類
- サホコカゲロウ
- ヒラタドロムシ
- ミズムシ類
- セスジユスリカ

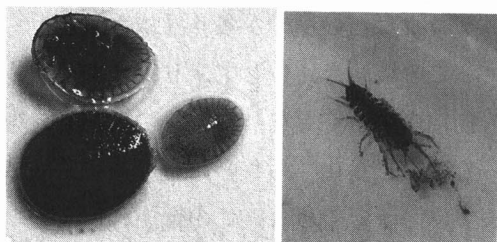


写真3 ヒラタドロムシ, ミズムシ類

C地点：流れがかなり速く、澄んでいるが残飯などがたまっている。

- ヒル類
- サホコカゲロウ

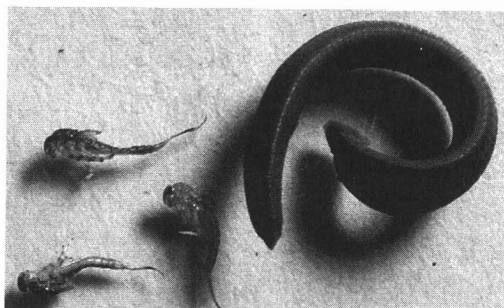


写真4 ヒル類とサホコカゲロウ

D地点：生活雑排水が摺上川に流れ込む所で水草が茂っている。

- サカマキガイ
- アメリカザリガニ
- シジミ類
- ヒル類
- モノアラガイ

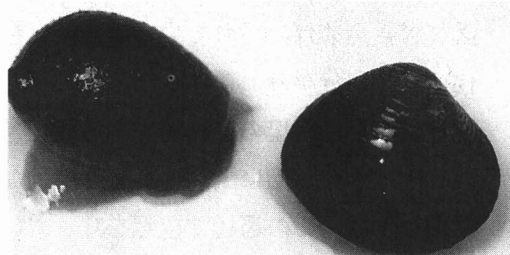


写真5 サカマキガイ, シジミ類

E地点：住宅地のどぶ川で止水し、悪臭があり濁っている。

- セスジユスリカ

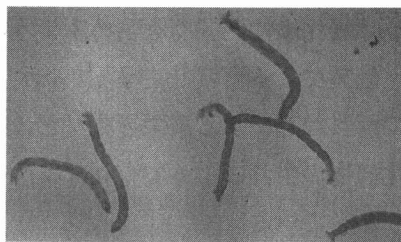


写真6 セスジユスリカ (アカムシ)

(2) 理化学的アプローチ

生物の調査と同時に薬品による水質の調査を行うことにより、汚れの原因をより詳しく分析することができる。

そこで、児童・生徒でも簡単な操作で水質を分析できる市販のパックテスト (COD\*, リン酸イオン\*\*) と pHメータで各地点の水質を調査した。

※化学的酸素消費量で水中の酸化しやすい物質 (主に有機物) の酸化により消費される酸素の量を表す。CODの値が大きいほど有機物の量が多く、川は汚れていることになる。

※※リン酸イオンは、家庭雑排水や尿処理排水などに含まれ、窒素とともに川の富栄養化の原因となる。

	E地点 (どぶ)	D地点 (合流地点)	B地点 (蛭川)	C地点 (瀬上地区)	A地点 (摺上川)
COD	10~20	7	4	4	3
リン	5	1	0.5	0.2	0.1
pH	6.8	6.6	8.0	6.9	7.4

表1 測定結果 (単位はPPM)